

28G-pm01

渦鞭毛藻由来マクロリド・Amphidinolactone A の全合成と立体化学の解明

○萩行 正博¹, 石山 玄明¹, 高橋 洋平¹, 久保田 高明¹, 小林 淳一¹(¹北大院薬)

【目的】Amphidinolactone A (**1**) は、2007年に当研究室にて渦鞭毛層 *Amphidinium* sp. より単離した新規 13 員環マクロリドであり¹⁾、NMR の詳細な解析により分子内の 3 つの不斉炭素の相対立体配置を推定した。本研究では、**1** の絶対立体配置の解明を目的として全合成を行ったので報告する。

【方法および結果】文献既知のアルデヒドを出発物質とし、不斉アリル化反応による 8 位水酸基の導入、および閉環メタセシスによるマクロラクトン環の構築を鍵反応として用いることにより、amphidinolactone A (**1**) の全合成を達成した。

【考察】合成した **1** と天然物との NMR スペクトルデータ、および比旋光度の比較により、amphidinolactone A (**1**) の絶対立体配置は 8*R*, 11*S*, 12*R* であると帰属した。

